

**CASBEE 広島 2016年版**  
**(仮称)ヴェルディ三篠町3丁目**

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>					0.40		-		<b>3.4</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.2</b>	1.00		<b>3.2</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50		
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.5</b>	0.50		
1 開口部遮音性能		Dr-50		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.30		
2 界壁遮音性能		Lr-45		-	-	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	4.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				<b>1.0</b>	-	<b>1.0</b>	-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.6</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00		<b>2.9</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00		
1 室温				3.0	0.63	-	-		
2 外皮性能				3.0	0.38	3.0	1.00		
3 ゾーン別制御性				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	-	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-		
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00		<b>3.9</b>
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	0.43	<b>4.0</b>	0.50		
1 昼光率		居室に対して開口の大きいサッシュを採用している		-	-	5.0	0.50		
2 方位別開口				-	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	1.00	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				-	-	<b>4.0</b>	0.50		
1 昼光制御		カーテン、庇を組み合わせることで制御		-	-	4.0	1.00		
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.21	-	-		
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.36	-	-		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.2</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00		<b>3.6</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質		住戸内建築材料はほぼF☆☆☆☆を使用		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				<b>2.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				-	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				-	-	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-		<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.2</b>	0.40	<b>3.2</b>	1.00		<b>3.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>1.0</b>	0.57	<b>4.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性				-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		住戸内LAN対応配管、光ケーブル対応としている		-	-	4.0	1.00		
3 バリアフリー計画				1.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				<b>4.0</b>	0.43	<b>2.0</b>	0.40		
1 広さ感・景観				-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-		
3 内装計画		共用部は美観に努め、住戸内は利便性を高める		4.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.8</b>	0.30	-	-		<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>2.9</b>	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級が等級2相当である		4.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				<b>2.4</b>	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>		<b>2.8</b>	0.30	<b>2.8</b>	1.00	<b>2.8</b>
3.1 空間のゆとり		-	-	<b>2.6</b>	-	0.50
1 階高のゆとり		-	-	3.0	-	0.60
2 空間の形状・自由さ		-	-	2.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり		-	-	<b>3.0</b>	-	0.50
3.3 設備の更新性		<b>2.8</b>	1.00	-	-	-
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.8</b>
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	道路から距離をとり、圧迫感をなくすような建物配置とした	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>		-	-	-	-	<b>2.9</b>
<b>LR1 エネルギー</b>		-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.1</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		2.0	0.20	-	-	2.0
2 自然エネルギー利用		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化	[BE][BEIm] : 0.92	3.8	0.50	-	-	3.8
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	-
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.6</b>
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	設備機器は、節水用・節水機能のものを使用する	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避		2.6	0.20	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避		2.5	0.70	-	-	-
1 消火剤		-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒		2.0	0.50	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>
1 地球温暖化への配慮		4.6	0.33	-	-	4.6
2 地域環境への配慮		2.0	0.33	-	-	2.0
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		1.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	-
3 交通負荷抑制	適切な駐車場、駐輪スペースと出入りの接道に配慮	4.0	0.33	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮		2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-
1 騒音		3.0	1.00	-	-	-
2 振動		-	-	-	-	-
3 悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		1.6	0.40	-	-	-
1 風害の抑制		1.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照明は計画的に配置する、屋外広告はない	5.0	0.70	-	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-